

みさき

73号



議会HPへアクセスします

美咲町議会だより

2023年8月10日発行



主な内容

- トップ 出前議会 in 原田……………②～③
- こんなことが決まりました……………④～⑤
- 9議員が町政を問う……………⑪～⑲
- <特集>美咲町子ども議会……………⑳～㉓

表紙関連記事23ページ

大きく育て美咲の子ども 地域の未来をみんなで語ろう
美咲町HPアドレス <https://www.town.misaki.okayama.jp>

＼ 総勢100人 みんなの声 ！

あらゆる世代が一緒になってこれからのまちづくりについて語りました。



出前議会

5月28日、美咲町林業センターにて原田第一・原田二区自治会と、美咲町議会とSDGsパートナーシップ包括協定を結んでいる美作大学・短期大学部、美作高校の学生、岡山大学教育学部の岡山県北地域教育プログラムの学生を交えての意見交換会が開かれました。



町に元気を
取り戻したい！

議会活動報告

広報特別委員会では、できるだけ多くの皆さんと意見交換を行うことを目的として各種団体など小さなグループを対象にした「出前議会」に取り組んでいます。その中で「議会だより」をもとにした議会活動報告を行っています。



情報の見える化が
重要！



トップページ

出前議会in原田

一緒に私たちの地域について考える！



出前議会in原田

定例会の報告

委員会の報告

各種報告

町政を問う一般質問

美咲町子ども議会

その他・報告

テーマは「小規模多機能自治」



通学路の整備を
してほしい!



小規模多機能自治とは。
地域住民が主体となった地域づくりのこと。



時代にあった
地域運営が必要!

原田地区の課題を共有



若者の意見を
聞いてほしい!



8テーブルに分かれ、自治会関係者、議員、学生が
自由闊達な意見交換を行いました。



安心して子どもを
育てたい!

これからの地域のあり方は



美作大学社会福祉学科
小坂田稔学科長

リーダーの育成が
重要!



私たちが地域で出来ることは何か。
これからの地域のあり方を話し合いました。



環境問題に
政策を!

への移行準備を加速

補正予算2億8,895万円など25件の議案が議決されました。

旭地域の拠点整備

地域活性化の促進並びに運営・維持管理費の縮減による行財政の効率化を図る。

〔旭地域多世代交流拠点整備事業

2億2,368万円〕



自然災害の防止

農業用施設を整備し、災害の発生を未然に防ぎ、災害の拡大防止にも効果がある。

〔自然災害防止事業(農業施設) 1,494万円〕



西幸公民館の移転整備

築後50年が経過しており、老朽化が著しく、年配者などが使用しにくいいため、移転整備する。

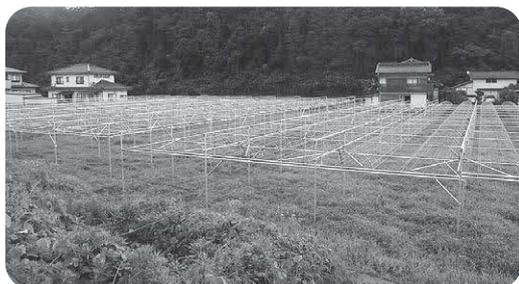
〔西幸公民館整備事業 3,124万円〕



新規就農者への支援

新規就農者の初期投資に係る費用を国県が支援し、早期の経営安定を図る。

〔新規就農総合支援事業 965万円〕



請願・要望

再審法(刑事訴訟法の再審規定)の改正を求める請願

日本国民救援会岡山県本部

会長 花田 雅行

紹介議員 藤井 智江

えん罪はあってはならないことは当然であるが、本請願は検察・警察への一方的な申し立てで、公平性を欠いており、賛成少数で不採択とした。

教職員定数と義務教育費

国庫負担率引き上げをはか

るため2024年度政府予

算に係る意見書採択の陳情

岡山県教職員組合

久米・苫田支部

支部長 今西 昌弘

子どもたちの教育環境を充実させることは重要であり、賛成多数で採択とした。

森林整備を一層推進するための森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める要望

久米郡森林組合

代表理事組合長 森谷 豊

森林の多い市町村へ森林環境譲与税の配分を高めるよう譲与基準の見直しが必要であり、全会一致で採択とした。

6月議会

でこんなことが
決まりました

重層的支援体制整備

令和5年6月1日～6月14日まで定例議会が招集され一般会計

こども笑顔基金を設置

次世代を担う子どもたちが、未来に夢を持ち豊かな心を育む施策に資するため、美咲町こども笑顔基金を設置する。

〔基金残高 9,108万円〕



複合化・複雑化した支援ニーズに対応

地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築のため、重層的支援体制整備事業への移行準備をする。

〔重層的支援体制整備事業への移行準備事業 142万円〕

重層的支援体制整備事業の実施

- ・相談支援：本人、世帯の属性にかかわらず相談の受け止め
- ・参加支援：社会とのつながりを回復するための支援
- ・地域づくりに向けた支援：属性をこえて交流できる場や居場所の確保

○は賛成 ×は反対 (議長は裁決に加わりません)		松島議員	左居議員	山本宏議員	松田議員	延原議員	形井議員	小林議員	藤井議員	山本資議員	板垣議員	三船議員	矢吹議員	則吉議員	中西議員
請願第1号	再審法(刑事訴訟法の最新規定)の改正を求める請願書	議長	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
陳情第2号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げをはかるため2024年度政府予算に係る意見書の提出を求める陳情	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

意見の分かれた議案

【議案に対する討論】

【請願第1号】再審法(刑事訴訟法の最新規定)の改正を求める請願(民生教育常任委員会の審査結果は、不採択)	【不採択に反対】この請願は不採択ではなく、採択して国に意見書を送付すべきだ。	藤井議員
--	--	------

議員発議

教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げに係る意見書

「学校の働き方改革・長時間労働の是正を実現」などを求める意見書を日本政府に対して送付した。

森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書

広い森林を抱える地方公共団体への配分に重点化する方向性で、譲与基準の見直しと、国の森林予算拡充を求める意見書を日本政府に対して送付した。

条例

美咲町議会議員の請負の状況の公表に関する条例

地方公共団体に請負をする議員に対し請負の状況の透明性を確保するため条例を制定する。

美咲町国際交流基金条例の一部改正

「美咲町国際交流基金条例」を「美咲町こども笑顔基金条例」に改める。こどもの笑顔が輝き、あふれるまちづくりの推進を目指し、幅広い子育て支援施策への活用を図る。

委員会 の活動

総務・産業常任委員会からの報告

総務・産業常任委員会は、総務課、理財課、地域みらい課、くらし安全課、税務課、上下水道課、産業観光課、建設課、みさき共創室、各総合支所地域振興課が所管する予算その他の案件について審査を担当しています。
委員長／山本宏治 副委員長／延原正憲 委員／中西伶王、矢吹一郎、山本 資、松田英二、松島 啓の7人で審査しています。

【地域みらい課】 多世代交流拠点の進捗

問 多世代交流拠点の進捗状況はどうなっているのか。

答 中央地域は6月から造成工事に着手する予定。旭地域は今年中には工事発注の予定。

【みさき共創室】 企業版ふるさと納税

問 新たに取り組んでいる企業版ふるさと納税とは。

答 町外に本社を有する企業で、1回の寄付額10万円以上が対象となる。対象期間は6年度末まで。

【上下水道課】 公営企業会計への移行

問 下水道特別会計の公営企業会計移行は進んでいるのか。

答 令和6年度に公営企業会計への移行を行うべく、5年度でさまざまな準備を行っていく。



(飯岡地内)

美作岡山道路に関連した遊水池築造工事予定地の現地視察を行い状況を確認した。

遊水池と排水ポンプの併用で内水対策が実施される。

【産業観光課】 新規就農者に補助金

問 新規就農総合支援の予算が増額された内容は。

答 新規就農者へ初期投資に係る費用を支援するもので、今回新たに2件が採択されたため増額した。

【建設課】 飯岡遊水池の予算増加

問 内水対策として整備される予算が増加したのはなぜか。

答 当初予定していた計画区域および工法に変更が生じたことから遊水池の設計費を増額した。

【くらし安全課】 防災訓練の実施予定

問 今年度の防災訓練はいつ頃実施する予定なのか。

答 9月3日(日)に美咲町防災訓練を実施する予定で、各自主防災組織には通知している。

視察研修報告①▶人口減少への対応と地方創生の取り組み・福井県池田町

〈町の状況〉

池田町は、福井県の南東部で岐阜県との県境、九頭竜川水系足羽川の最上流地に位置する山岳地帯にあり、令和5年4月現在、890世帯、2,295人の人口規模である。総面積194.65km²のうち山林が91.7%を占め中央に肥沃な農地を有する盆地を形成する町である。

●消滅可能性自治体・福井県第一位と称されているが、人口減少への対応戦略など住民と



整備されたアスレチック

行政が一体となり存続のため町の資源を最大限に生かし、その資源の付加価値向上へのさまざまな取り組みを行っている。

〈地域資源循環型農村を目指して〉

●食品資源再生事業「食Uターン」家庭の食資源をリサイクルする事業。

●牛糞と籾殻、生ごみを混ぜてオリジナルな高品質の堆肥をつくり農業に利用する。
●生命に優しい米づく

池田町独自の栽培基準を設け、農薬や化学肥料の使用状況により米の買取価格を4段階に設定し価格差（付加価値）をつける。

〈森林資源を活用した観光まちづくり〉

●木望のまちプロジェクト

●観光客数は平成27年度15万4,000人であったが令和4年度21万3,000人8年間で40%増加。
●また、移住者数も平成27年度から令和4年度までに96世帯、146人の増加となっている。
●諦めない知恵と工夫と執念を穏やかな語り口のなかにもひしひしと感じた。

視察研修報告②▶移住定住施策の推進・石川県津幡町

〈町の状況〉

津幡町は石川県のほぼ中央に位置し北陸の中核都市金沢市に近く加賀・能登・富山県への分岐点であり交通の要所として重要な地域となっている。町の総面積は、110.59km²、人口3万7,420人で市に匹敵するような町である。

〈定住促進の取り組み〉

●11項目の各種支援制度が進められている。
●社会動態増加への取り組み。

●住宅取得等奨励金・空き家バンク利用奨励金・農村定住奨励金・



活発な意見交換

●新規雇用促進奨励金・結婚祝い金・移住支援金・奨学金返還支援補助金
●自然動態増加への取り組み。

●結婚推進委員・婚活支援事業補助金・三世代ファミリー同居等促進事業補助金・結婚新生活支援事業補助金
●転入超過は続いているが、高齢者との関係で自然動態がマイナスに転じている。

●移住定住に条件の良い地域が、危機感を持って早くから対策を講じている点には考えさせられる所である。

委員会 の活動

民生・教育常任委員会からの報告

民生・教育常任委員会は、住民生活課、長寿しあわせ課、健康推進課、こども笑顔課、福祉事務所、教育総務課、生涯学習課、各総合支所地域振興課が所管する予算その他の案件について審査を担当しています。

委員長／形井 圓 副委員長／小林達夫 委員／則吉洋介、三船博之、板垣正寿、藤井智江、左居喜次の7人で審査しています。

【長寿しあわせ課】 老人福祉施設の減額

問 老人福祉施設の3,500万円の減額補正は。

答 あさひが丘の機能向上改修工事で予算を見込んでいたが、計画が遅延となるため減額補正とした。

【健康推進課】 母と子の健康診査

問 母と子の健康診査事業の対象者は。

答 妊産婦とお腹にいる赤ちゃん、生まれて3カ月～3歳6カ月の乳幼児で、本年度は目の検査も始める。

【福祉事務所】 重層的支援体制とは

問 重層的支援体制整備事業の目的は。

答 全世代型包括ケアシステムの構築を目指すもので、今後コーディネーターを配置していく。



西幸公民館移転整備の現地視察を行った。

老朽化が激しく新耐震基準を満たしていないため、将来を考え災害にも対応できる施設を新築する。

【こども笑顔課】 こども笑顔基金条例

問 美咲町こども笑顔基金条例の目的は。

答 次世代を担う子どもたちが未来に夢を持ち、豊かな心を育む施策に資するために使えるように改正する。

【教育総務課】 学校給食の保護者負担は

問 学校給食の保護者負担はいくらか。

答 小学校で1食当たり275円、中学校で1食当たり325円。材料の購入費でそれ以外は、町負担である。

【生涯学習課】 デジタルリテラシー向上事業

問 デジタルリテラシー向上事業とは。

答 デジタル関連の知識や技術を習得するもので、自治会単位で8月からの講座開設を目指している。

委員会からの報告

先進地の視察研修に行きました

議会広報特別委員会では、令和5年6月29・30日と福岡県大刀洗町議会・須恵町議会に視察研修に行きました。両議会の議会広報誌は、見やすさ、読みやすさで大変高い評価を受けています。また、SNSにも早くから取り組まれ、若い人からお年寄りまで議会をもっと身近にと努力されています。積極的に広聴活動もされ模範となる議会です。意見交換会を通じて、その根本にあるのは、活発な議会活動であると確信した良い研修ができました。



大刀洗町議会



須恵町議会

視察研修の受け入れ

美咲町議会では、意見交換を通じてお互いの議会の良いところを学び、生かすことによって諸問題の打開策のヒントを得ようと、積極的に全国からの視察研修を受け入れています。



○令和5年6月28日
山形県置賜地方町村議会議長会
【議会運営視察研修】
議会議長および事務局(10人)

○令和5年7月3日
兵庫県南あわじ市議会
議会広報広聴常任委員会

【議会だより視察研修】
議会議員および事務局(8人)

○令和5年7月11日
埼玉県戸田市議会議会広報委員会
【議会だより視察研修】
議会議員および事務局(10人)

【議会だより視察研修】
議会議員および事務局(10人)

旭学園開校しました

義務教育学校『美咲町立旭学園』の開校式典が、令和5年5月20日に多くの来賓を迎え、議員も参加し挙行されました。

岡山県下では2番目になる義務教育学校です。この学校で子どもたちは、練磨・創造・敬愛の校訓のもと新たな歴史を刻んでいきます。

旭で育って良かったと思えるように、生徒・先生・保護者はもとより、地域全体で見守っていきましょう。



議会ってなんだろう

旭学園6年生議会体験学習

旭学園6年生14人が令和5年6月26日に、授業の一環として美咲町議会を訪問してくれました。

議会は何をするのかについて、本会議場で自分の名前の席に座りモニターを見ながら議会の『仕組み・仕事』の説明を真剣に聞いていました。



町政を問う

一般質問は町民を代表し、
町長・教育長などに
町の方針や施策を問います。

ページ	議員名	質問内容
12	山本 資	1. 義務教育学校における郷土学習は 2. 財源確保対策をどう考える
13	三船 博之	1. 子どもの笑顔は家庭教育が重要 2. PTA活動を支援しているのか
14	中西 伶王	1. 人口減少に歯止めをかける政策は 2. 野良猫の苦情・相談への対応は
15	板垣 正寿	1. ミサキアエルプロジェクトの進捗は 2. 小規模多機能自治をどう実現する
16	矢吹 一郎	1. 要望書への対応は出来ているのか 2. 国土強靱化計画の取り組み状況は

ページ	議員名	質問内容
17	藤井 智江	1. 柵原学園地域説明会を早期に 2. 加齢性難聴補聴器購入に補助を ◇ 学校給食費を無償化に
18	松島 啓	1. 広聴のシステム構築が求められる 2. アフターコロナのまちづくりを
19	山本 宏治	1. 子育て政策実現に向けた財源確保
	左居 喜次	1. 幼少期から防災教育の充実を

高城のエノキ

議会だよりには、2問まで掲載
しています。
質問の状況については、
美咲町YouTubeチャンネルで
確認していただけます。

美咲町指定天然記念物 高城のエノキ(推定樹齢300年以上)



山本 資(やまもと たすく)議員

質問

義務教育学校における郷土学習は

答弁

9年間を通じて郷土学習を実施



ふるさとの歴史を考えよう

問 義務教育学校の開校は、本町教育行政の大きな転換期である。

本町では、今年度岸田吟香生誕190周年、旧片上鉄道開業100周年、月の輪古墳発掘70周年などの歴史的文化遺産の節目を迎える。こうした歴史的・文化的価値を後世に伝えていかなければならない。

地域の歴史を学んだ子どもたちが、地域で活躍し、歴史・文化の橋渡しをしてくれることを願うが、郷土学習をどう進めていくのか。特に地域の歴史につ

いて地域のひとと一緒に取り組んでほしい。平賀生涯学習課長

答 義務教育学校の柔軟な学年の区割りの特性を生かして、9年間の中で自由に郷土学習のカリキュラムを組むことも可能となっている。

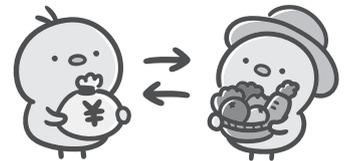
また、現在でも教職員や保護者、地域の人たちが共に智慧を出し合い、学校運営に反映していく学校運営協議会が開催されている。教育方針や目指す子ども像を共有しながら、子どもたちの郷土愛を醸成する学校づくりを進めている。

質問

財源確保対策をどう考える

答弁

税収以外の財源確保に知恵を絞る



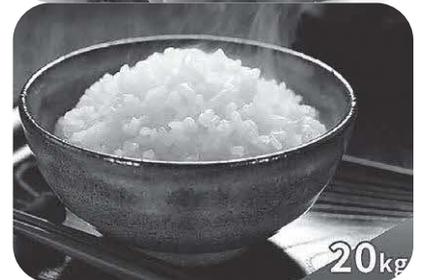
問

大規模プロジェクトなどへ対応するため、令和5年度当初予算は今までになく大規模なものとなった。現在、本町の人口減少率は県内でも最も高く、今後とも人口減少が続くことは明らかで、税収も減少していく。

行財政改革審議会を設置して、将来を見据えた行財政改革に取り組んでいるが、子どもの笑顔はみんなの幸せのまちづくりを行うために、今後税収以外の財源確保にどう取り組んでいくのか。

答

青野町長
税収以外の財源



まちの美咲しいものいっぱい

として、最も大きいのは、ふるさと納税である。

現在、本町のふるさと納税額は1億円を上回るレベルにまで増加している。さらに返礼品の開拓を進める。

このほど新設された企業版ふるさと納税に際しては、私自らトップセールスを行っていく。

また、学校応援等応援寄付金のような新たな納税の仕組みを考え、町有地の売却、普通財産の売却をはじめ、あらゆる財源確保策に知恵を絞っていく。



三船博之(みふね ひろゆき)議員



質問

答弁

子どもの笑顔は 家庭教育が重要

家庭での教育は全ての出発点



こどもの笑顔は みんなの幸せ

問

本当の子どもの笑顔を見るためには、深刻化している家庭問題に対処するため、家庭教育の見直しが必要であり、保護者としての教育も必要である。

答

須々木子ども笑顔課長 親も子育てをしていく中で、親の務め・責任を認識し子どもと一緒に成長するものとして理解している。

問

子どもの笑顔は家庭教育だけでなく、学校教育も大変重要である。

答

平賀生涯学習課長 親育ち応援学習プログラムを活用して、保護者などに対する学習の機会を就学前の保護者も含め提供している。

質問

PTA活動を支援しているのか

答弁

親として学び合う交流の場を提供

子どもが笑顔で幸せになるための認識・子ども笑顔課の役割・家庭まで踏み込む勇気があるのかを問う。

答

青野町長 家庭は教育の原点であり、全ての出発点である。子育て世代との意見交換や岡山県の少子化対策バックアップ事業などを通じて、子どもの笑顔がどうすれば得られるか検討していく。

問

子どもが生まれる前から就学前の親のために美作大学と協力して、みさキッズ育児のしおりなど考えられないか。

答

黒瀬教育長 地方社会教育行政法に基づき各学校ごとに、PTAも含んだ学校運営協議会を設置し活動している。

答

結石教育総務課長 コロナ禍のためにPTA活動も苦慮さ



わたしたちの活動宣言

赤ちゃんとお母さんお父さんのために、私ができること。

こどもの笑顔は みんなの幸せ

～みさキッズは、希望のたまご。 しほん 子本主義 美咲町～

美咲町長

問

今こそ、PTA活動を活発にして子どもの様子・きづきを学校と保護者・保護者同士が情報共有して行くことが肝要であると思うが、教育委員会として指導・支援をしているのか。

答

保護者としての在り方や役割について考えるきっかけになるように働きかけていく。



中西伶王(なかにし れお)議員

質問 人口減少に歯止めをかける政策は

質問

答弁 切れ目のない施策を進めていく

答弁



問 人口減少の要因の一つである晩婚化を防ぐため男女が出会う場を設ける取り組みはできないか。

また、若い夫婦が本町に移住したいと思う政策は考えているのか。

答 青野町長

総務省のアンケートによると、若い世代の移住条件は①就労支援②住宅支援③子育て環境の充実となっている。

津山圏域全体の魅力を高め、民間事業者とも連携した分譲地整備、子育てしやすい町を目指し、切れ目のない施策を進めていく。

答 須々木こども笑顔課長

出合いを求めている「おかやま縁むすびネットワーク」をお知らせする。

婚活イベントは、民間事業者の動向を踏まえ、町の対応を検討する。



問 まず本町に住んでもらうことを考えてもらうために、空き家などを活用した住宅支援に力を入れるべきである。

光嶋地域みらい課長

答 民間事業者が空き家を買って貸し出すサブリース。役場が空き家を借り上げて貸し出す中間管理住宅を研究している。

民間事業者が空き家を買って貸し出すサブリース。役場が空き家を借り上げて貸し出す中間管理住宅を研究している。

質問 野良猫の苦情・相談への対応は

質問

答弁 正しいペットの飼い方など周知

答弁



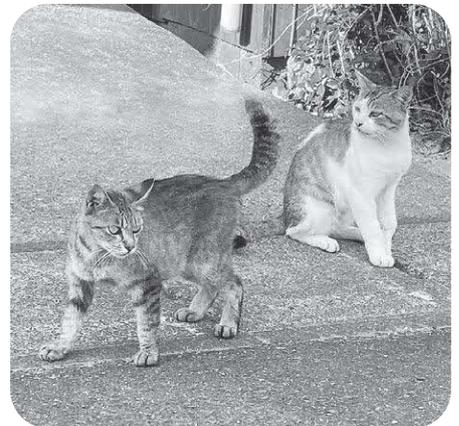
問 住民から受ける相談の中に野良猫が家屋や空き家に侵入し、そこから糞尿の臭気や鳴き声に悩まされる事案が増加している。

町独自または民間と連携して野良猫の繁殖を防ぐ対策は考えられないか。

答 青野町長

環境省では、動物保護団体に引き取られた犬猫の譲渡を推進する団体とパートナーシップを締結して連携・協力を行っている。

動物愛護の分野において民間団体との連携は課題解決の有効な方



私たちがも生きている

法である。

答 篠原住民生活課長

役場への野良猫に対する苦情や相談は、年間20件程度あり、岡山県動物愛護センターには1,340件程度の相談が寄せられている。

この問題は行政だけでは解決できない。

住民が主体となり、不妊手術や糞の始末など猫トラブルのルールを定めて継続的に管理する地域猫活動がある。

このような活動を支援しながら、引き続き正しいペットの飼い方を周知していく。



板垣正寿(いたがき まさとし)議員



質問

答弁

ミサキアエルプロジェクトの進捗は 各分野で地域おこし協力隊が活躍



地域おこし頑張ります

問 町のさまざまな課題解決を図るため、令和4年度から、ミサキアエルプロジェクトと題して、地域おこし協力隊の募集が始まった。

答 プロジェクトの進捗状況を聞きたい。

答 米本産業観光課長 現在コーディネートター1人、「棚田復興」、「6次産業化」の分野でローカルベンチャー12人の計3人が着任している。地域との関係構築を図りながら、それぞれ活躍を始めている。

現在の募集分野は他に、「山の仕事」、「ワ

インづくり」、「鉄道遺産」、「美咲DX」、「空き家プロデュース」、「クラフトビレッジ」などのテーマがある。

問 不登校支援としてのフリースクールの運営や、高齢者の困りごと支援など、今後、教育や福祉分野のプロジェクト募集も可能か。

答 宇佐見政策推進監 応募者にとって魅力やニーズがあるか、町内でどのような支援体制が組めるかを考慮し、この仕組みが有効に生かせる分野であればさまざまなテーマに活用を検討する。

質問

小規模多機能自治をどう実現する

答弁

町と地域が対話を重ねて進める

問 13地域それぞれの現状と課題について聞きたい。

また、今後どのような周知し、実現していくのか確認したい。

答 光嶋地域みらい課長 小規模多機能自治組織として認定された協議会が1団体、今年度中に地域未来計画を完成し、認定されると見込まれる協議会が2団体、アンケートが終了した協議会が2団体、今年度アンケートを実施する協議会が2団体、説明会を開催した協議会が4団体、まだ十分な理解が進んでいない協議会が2団体ある。

取り組みを始めた時期、共有会の開催頻度、活動内容など、それぞれの協議会において特性と事情がある。

住民意識の差はまだあるが、着実に一歩ずつ前進している。

問 実現に向けたロードマップはあるのか。

答 光嶋地域みらい課長 町の職員が、地域の皆さんと一緒に話し合いの場を重ね、アンケート調査をした後、各地域それぞれの地域未来計画をつくっていきたいと考えている。



倭文西まちづくり協議会
地域みらい計画書



矢吹一郎(やぶき いちろう)議員

質問 要望書への対応は出来ているのか

質問

答弁 緊急性や優先度の高い順に対応

答弁



問 現在、さまざまな団体から提出されている各種要望書への対応は出来ているのか。

①地域の要望書は、現在自治会長が提出しているが、現体制となった経緯と本町の方針を問う。

②要望書の受付件数、実施件数などの内訳は。

③小規模多機能自治組織からの要望書と、自治会要望書との関連はどうなるのか。

④要望案件の割り振り、と審議、決定までの経緯と担当部署はどこか。

答 青野町長
①要望は「請願法により」団体・組織の

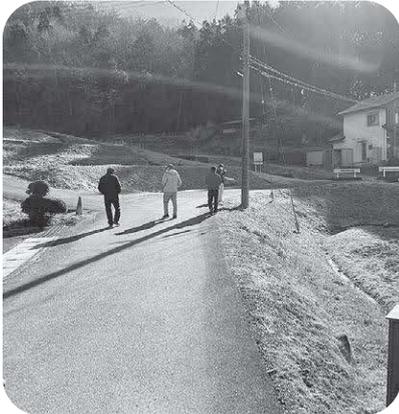
代表者から文書で提出してもらい「令和元年に訓令を制定」し統一した事務処理を実施している。

答 神坂総務課長
②令和4年度、要望書受付総数は88件。自治会提出件数は46件で、対応済み24件、現在対応中18件。

現時点で対応困難なものは4件である。

③小規模多機能自治組織からの要望は、内容を精査し適正に対処する。

④総務課で一括して受け付けて、内容により担当部署に割り振り、緊急性、優先度の高い順に対応している。



書副自治会が町道周佐書副線を要望調査

質問 国土強靱化計画の取り組み状況は

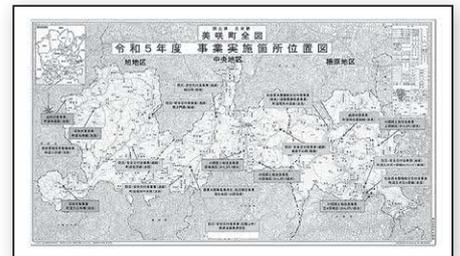
質問

答弁 6路線を計画的に実施している

答弁



令和5年度事業実施箇所位置図



住民の安心・安全を守るため

問 異常気象による災害がいつ発生してもおかしくない状況が続いている。防災・減災への対応は大丈夫か。

①期限が令和7年までの防災・減災・国土強靱化計画の進捗状況は。

②地域住民から、防災減災への提案、要望は出されているのか。

③防災・減災・国土強靱化の対象とならない事業要望はどのように対応しているのか。

答 前田建設課長
①現時点で対策が必要な危険災害発生予想箇所は、主要路線、スクールバス路線、通

学路など6路線を計画している。2路線は完了済みであり、令和7年度の期限までには全路線を計画的に実施する予定である。

②地域住民からの緊急要望についても計画に反映させ実施している。

③国土強靱化の対象にならない事業は、緊急自然災害防止事業で対応している。

自然災害の発生が予測される場所において、災害を未然に防ぐ為に、最も適した事業であり、今後も有効に活用し住民の安心・安全のために対応していく。

質問

柵原学園地域説明会を早期に

答弁

7月上旬までに行う予定で調整中

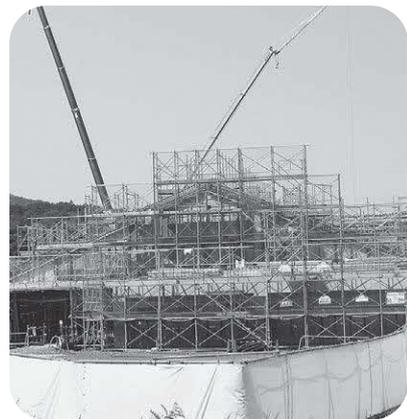


藤井智江(ふじい ともえ)議員

問

義務教育学校柵原学園開校に向けた取り組みを確認したい。

義務教育学校柵原学園開校に向けた取り組みを確認したい。



子どもたちのために

①令和5年度に地域説明会・意見交換会の準備を進めるとのことであったが、予定はいつか。どのような形で行うのか。
②学年の区切りを6・3制から4・3・2制に変える理由が「義務教育学校だからできる」というだけでなく、良いという根拠は何か。
結石教育総務課長

答

①説明会開催の時期は6月下旬から7月中旬で調整している。専門部会や開校準備委員会での決定事項、

今後のスケジュールなどの報告、説明を予定している。

②令和2年度に町内の学校を小中一貫教育校と位置付け小・中学校教育の一貫性に配慮した教育方針を作成した。発達段階に応じて学年の区切りを柔軟に設定できることは教育課程のメリットである。

問

説明会を受けて地域の中で話し合わなければならぬ。柵原地域全体1力所ではないか。

答

結石教育総務課長
内容・開催方法については協議中である。

質問

加齢性難聴補聴器購入に補助を

答弁

保険適用の是非も含めて国が判断

問

加齢性難聴の認知症リスクに対して、聞こえにくくなったら補聴器を使つての対処が大切と指摘されている。

問

本町は、認知症予防に特に力を入れている。介護保険予防事業の保険者は美咲町であり、介護保険の繰越金は3億円程度ある。県と協議し介護保険の予防事業として加齢性難聴補聴器購入時に補助できないか。

問

介護保険の適用も含め本町の施策を目指す。

答

加齢性難聴進行の予防や高齢者を取り巻く周囲の環境に配慮し、高齢者が生き生きと暮らせる町づくりを目指す。

答

加齢性難聴補聴器購入の補助は、介護保険制度の対象でもないことから補助制度は考えていない。
加齢性難聴と認知機能の低下との因果関係



高齢者のために



松島 啓(まつしま ひろむ)議員

質問 広聴のシステム構築が求められる

質問

答弁 フラットトークの要綱を制定する

答弁



問 町長自ら町民の意見・提案を聴く対話の場を開催しているが、今後は若者を含め全世帯を対象とした広聴システムを構築し、条例化すべきではないか。

広報紙・ホームページのリニューアル、SNSを活用した本町のPRを強化すべきではないか。

答 青野町長

従来の懇談会形式では年齢層が偏るため、参加の少ない若い人、子育て世代との意見交換の場として、新たに「フラットトーク事業」を企画した。町民からの開催も提案し



子育て世代と意見交換

てもらえるように要綱を制定したい。

答

岡本みさき共創室長 フラットトークの1回目は子育て世代の母親の皆さんと、2回目は健康ポイント実行委員の皆さんと子育て環境や健康推進をテーマに開催した。

当面は子育て支援を中心テーマにして月1〜2回開催したい。

広報紙はQRを活用し、読みやすい誌面づくりに取り組み、ホームページはすぐに検索できるよう改善する。SNSはインスタグラムなどで本町の魅力を発信する。

質問 アフターコロナのまちづくりを

質問

答弁 スポーツによるまちづくりを行う

答弁



めがせ卓球王国みさき

問 3年以上さまざまな行動・取り組みに制限があり、地域経済、地域活性化に多大な影響があった。コロナ禍が終息した訳ではないが、今後は感染防止を行いながら観光振興・産業振興・スポーツによる地域づくりを進めるべきではないか。

答 米本産業観光課長 観光振興では、片上鉄道開業100周年の第1弾として花見・写真撮影会を開催した。

たまごかけごはん専門「食堂かめつち。」は今年来場者100万人を迎えるので記念イベント

を計画している。産業振興では、就農相談会・林業体験会を開催し雇用・定住に繋がりたい。企業誘致は、適地となる町有地を調査している。

答

平賀生涯学習課長 現在、社会体育施設の利用制限は無く、各団体が活動している。新たな取り組みとしては、柵原地域でミニトランポリンの全国交流研修会、旭地域であさひ・みやすみ卓球大会が開催される。

関係交流人口の増進、世代間交流でいろいろなスポーツによるまちづくりに努めていく。



山本宏治(やまもと こうじ)議員



質問

答弁

子育て政策実現に向けた 財源確保

提案された内容の検討に入る

問 最重要課題である「子ども・子育て政策」実現のため子ども笑顔課が設置されたことに伴い財源確保が必要と思われる。

飲料水メーカーとタイアップして、役場施設に設置している飲料水の自動販売機に一本10円の子育て協力金として寄付金付きの料金設定はできないか。

答 青野町長
行政と地域・子育て世代がしっかりと連携できるように取り組む。

提案された内容は、飲料メーカーと話し合

問 い実現に向けて検討する。

答 須々木こども笑顔課長の
自動販売機での継続的な財源確保は利用する住民の子育て支援に対する参加意識醸成にもつながり有意義な提案と考える。

未設置の公共施設への寄附金付き自動販売機の設置も考えたい。

問 町内企業などに設置されている自動販売機にも協力を要請してみてはどうか。

答 須々木こども笑顔課長
町内企業への設置依頼についても検討していきたい。



子どもの未来に投資しよう



左居喜次(さこ よしつぐ)議員



質問

答弁

幼少期から防災教育の充実を

「いのちを守る力」を身に付ける

問 近年激甚な災害が発生する中で、自然災害に対応し災害に対する知識や心構えを備えた人を育てるため、幼少期からの防災教育が効果的と考える。

子どもたちへの防災教育に対する考えを示されたい。

答 青野町長
政治・行政の最も大切な役割は、住民の命と財産を守ることだと思っている。そのためにも災害を想定した訓練に力を入れたい。

答 黒瀬教育長
学校だけでなく、地域・行政・関係機関が一体となった防災に関する取り組みが、今後一層推進できるように努めていく。

問 現在から将来にかけて、子どもたちが地元も含め各地へと住まいを移す中、人々の命を守る裏打ちされた安心を得るために、防災教育のさらなる充実を求める。

答 青野町長
岡山県内にとどまらず、県外で生活する子どもたちが、どのような事態に遭遇しても対応できる「いのちを守る力」を身に付けられるように努める。



「いのちを守る」

特集

令和5年度 美咲町子ども議会

令和5年6月16日(金)に町内3中学校の3年生を対象とした令和5年度美咲町子ども議会が開催されました。

《子ども議会の趣旨》

- 美咲町の将来を担う子どもたちに町政に対する関心を持ってもらう。
- 町政に対する要望や質問を発表することを通して美咲町の将来のあり方を考える主権者としての意識を育てる。
- 子どもの視点からの意見を今後の町政に反映していく。

各中学校の代表として中央中学校4人(内1人は議長)、旭学園3人、柵原中学校3人の合計10人の議員によって美咲町子ども議会が開催されました。

3校園の3年生全員が役場3階大会議室と議場に分かれて傍聴する中、町政全般にわたる一般質問が行われました。

次世代を担う子どもたちの町を思う気持ちが伝わりました。

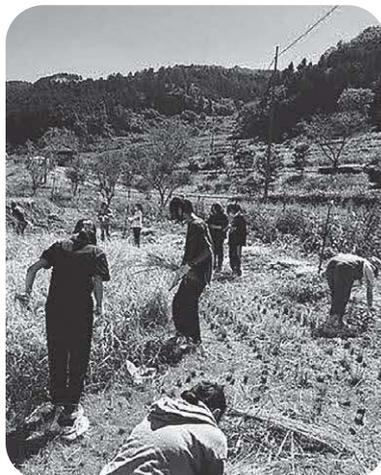
子ども議会に参加して



10番議員 中央中学校3年 議長 ^{むらかみ}村上 ^{あすみ}明澄美

最初はとても緊張しましたが、議員のみんなもスムーズに質問できていて良かったし、すごく楽しく進めることができました。

議員の質問のほとんどが美咲町の活性化に関することでしたが、私も将来、この美咲町が今より活性化していき人口も増え、お店がたくさんできて賑わうようになってほしいと思います。



みんなで柵田を美しく

問 美咲町では柵田が有名です。しかし、きれいな柵田がある一方で、一部の柵田は草で荒れ、残念な気持ちになります。柵田をきれいにすると、よりたくさんの方が来て町の活性化にもつながると思います。美咲町全体で、美しい柵田を取り戻す活動を行ってほしいです。私たち中学生も、ボランティア活動に参加したいと思っています。ご検討をお願いします。

答 美咲町の美しい柵田を守り維持していくためには、萩原議員のように、従来柵田に関わったことが無いような新しい人たちが柵田に関わっていただくことが必要だと思います。「柵田再生」は大変難しい課題ですが、柵田の景観は大きな魅力であり、町にとって大切な財産でもありますので、是非、何とかできるような取り組みたいと思います。

1番議員
中央中学校3年 ^{はまわら}萩原 ^{こういち}幸一



美しい柵田を取り戻す活動を

新・たまごかけご飯の提案

2番議員
中央中学校3年 やまな しずく
山名 栗



問 美咲町のたまごかけご飯は、テレビなどで紹介され、多くの人に人気です。そこで、美咲町でしか味わえない新・たまごかけご飯を提案します。美咲町の特産物の黄ニラを使った漬物やラー油、黄ニラジュレを作り、トッピングとして使用するというものです。また、たまごまつりを再開し、たまごまつりプリンリーのギネスに再挑戦することも提案します。

答 美咲町が益々「たまごかけご飯の聖地」として有名となるように、多くの皆さんが「食べたい」と思えるような、様々なたまごかけご飯のアイデアを出していただき、一緒に町を盛り上げて欲しいと思います。たまごまつりは現時点で、今年度は開催する方向だと聞いています。たまごまつりプリンリーは実施できるかどうかは検討していきます。



みさき名物たまごかけごはん

通学路危険箇所安全対策を

3番議員
中央中学校3年 みちのり
二森 桜華



問 通学路の歩道に、いくつか問題点があります。1つ目は亀甲マイカーセンター前の歩道が狭いことです。特に、自転車で登校中にトラックが横を走るとき、ぶつかりそうになりとても危険です。2つ目は、まこも池周辺の街灯設置です。この歩道は街灯がないので、夜は非常に暗くとても危険です。以上2箇所、歩道幅拡張と街灯設置を要望します。

答 亀甲マイカーセンター前の歩道については、昨年度には関係する地権者の方に計画の説明を行い、今年度は用地買収を予定しています。今まで歩道が狭かった場所に、新しく歩道が整備される予定です。まこも池周辺の街灯設置については、「防犯」のための街灯として自治会で設置・管理することが可能です。これにあたる補助制度も活用することができます。



通学路にしては歩道が狭い

目的を終えた公共施設の再利用を

4番議員
旭学園9年 こほやし
小林 慎士



問 旭町民センター解体後の跡地利用について提案します。僕たちが中学2年生時に提案したキャンプ場やアスレチックのある家族向けの公園を作ることです。次に、旧旭中学校のプールの再利用についてです。プールをそのまま放置せず、再利用について考えて欲しいです。犯罪の温床、防災性の低下、衛生や景観の悪化につながるリスクがあります。

答 旭町民センター解体後の活用については、現時点ではまだ決まっていません。今後、旭地域の住民代表の皆さんによる「旭みらいデザイン検討委員会」のご意見を踏まえながら検討していきます。旧旭中学校のプール再利用については、長い時間と費用が必要になることが見込まれます。関係機関等とも協議しながら、今後について検討していきます。



再利用を考えよう

旭地域にコンビニ誘致

5番議員

旭学園9年 武村 莉桜

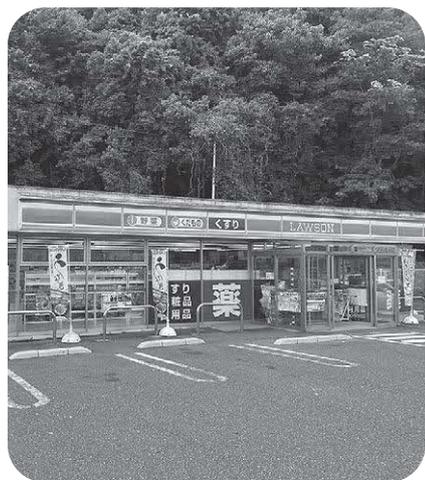


問 人口を増やすためにはお店が必要

です。そこで「コンビニ誘致について調べたところ、ローソンが「自治体と連携した地域協働事業の推進」を進めていることを知りました。私は美咲町がローソンとタイアップして地域に根差したコンビニを運営することを提案します。旭地域をより住みやすくするために、美咲町として取り組んでいただけるようお願いいたします。

答 旭地域をより住みやすくするため

に、コンビニをオープンすることはとても素晴らしい提案だと思います。但し、コンビニを維持していくためには1日600人以上のお客さんが来店し、40万円以上の売上げが必要であると言われております。コンビニの実現に向けて地域の魅力を高め旭地域に訪れてくれる人が増えるアイデアを皆で考えて行きましょう。



住みやすい町に向けて

三休公園を観光拠点に

6番議員

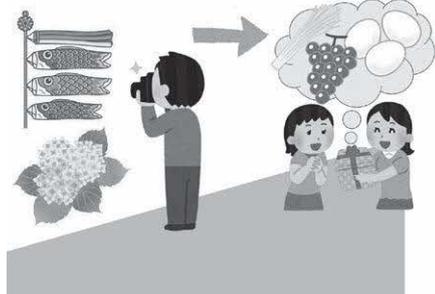
旭学園9年 前田 美紗



問 旭地域への観光客を増加させるため

には、三休公園に夏のヒマワリや紫陽花など季節を感じさせる植物を植えて年間を通じて誘客が考えられないでしょうか。また、新たな植物や鯉のぼりなどを利用したフォトコンテンツを開催して、上位者には美咲町の特産品を贈ることで町全体の活性化につながり、観光客が増加する効果が期待できると思

答 「四季折々に異なる風景が楽しめる公園」というアイデアはとも素晴らしい発想だと思います。三休公園には桜の他にモミジも植栽されています。また、今年の春「2023三休公園インスタグラムフォトコンテスト」を久米郡商工会が主催されました。これからも三休公園をより魅力あるものにしていくための検討に皆さんにも加わっていただきたいと思います。



新たなアイデアで町が変わる

総合型スポーツパーク

7番議員

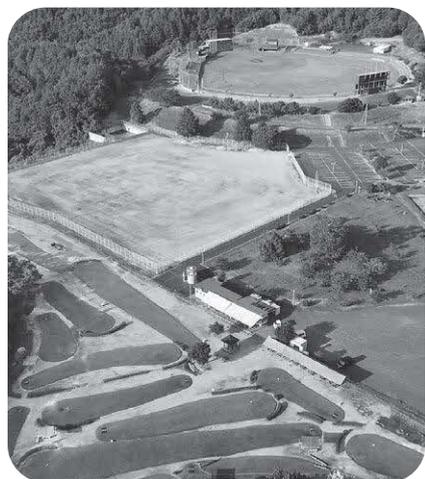
柵原中学校3年 河本 有真音



問 柵原地域のエイコンパークを地域の交流所としてもつと

活用することはできないでしょうか。具体的には、町内のスポーツ・文化活動・各種イベントを開催できるようにすることで総合型スポーツパークとして利用すれば地域の活性化につながります。また、現在エイコンパーク内にある学習スペースを中学生が利用していますが、この増設は考えられませんか。

答 エイコンパークには、文化・スポーツ・遊び・福祉の4つのゾーンがあります。来年度にはこの地域に柵原学園が開校し、体育館やグラウンド・地域交流ホールが完成し、エイコンパークも含まれた帯がスポーツ・文化・教育・福祉の4拠点となつていきます。この機会に地域の交流拠点となるように皆さんでいろいろなアイデアを出していただけたらと思います。



スポーツ交流で地域活性化

9人の子ども議員が町政を問う

出前議会 in 原田

定例会の報告

委員会の報告

各種報告

町政を問う 一般質問

美咲町子ども議会

その他・報告

ふるさと納税の魅力アップ

8番議員
榊原 中学校3年 山下 恵依



問 ふるさと納税の返礼品として、美咲町ではピオーネなど約90品目を提供していますが、和気町では工芸品など400品目が提供されています。美咲町でも町産の木材で作った椅子・テーブルなど提供品目を増やし、年齢層に合った品物を考えてみてはどうでしょうか。また、町の魅力が伝わる自治体情報を積極的に発信すればふるさと納税の増加にもつながります。

答 調査・比較・分析に感謝します。指摘のように美咲町の返礼品数は他の自治体と比べて少ない状況です。町内の事業者に対して新たな品物の追加を依頼していきます。町産の木材を使った家具などについても町内企業と調整していきます。今後は、納税者の情報を分析し、PRの方法を工夫するなど対象者を意識したマーケティング戦略を展開していきます。



交流人口を増やそう

食品ロスを無くすために

9番議員
榊原 中学校3年 福井 大椰



問 学校給食は、毎日工夫をして美味しい給食を作っていたり、残念なことにならず食品ロスが発生しているところも事実です。ところが、麺類が給食になった時にはほとんどロスがありません。この際、麺類の頻度を増やし、さらに棚田米を使った米粉麺を使用すれば食品ロスを減らし、給食がさらに楽しいものになると思います。

答 麺給食については、1学期に1回献立を組み入れています。お米に比べて麺類の値段が高くなるために今の状況になっています。米粉麺にするときに値段が上がります。しかし、小麦麵に対して米粉麵は食物アレルギーの心配が少ないため、この発想は健康にも配慮した良い提案だと思います。今後、栄養士の先生とも相談して前向きに検討していきます。



給食は楽しいひととき

令和5年9月定例会の予定

- 令和5年9月に予定されている美咲町議会定例会は
 - ◆9月4日(月)開会～9月22日(金)閉会の19日間
 - ◆一般質問は9月5日(火)～9月6日(水)の2日間
 - ◆決算特別委員会は9月14日(木)～20日(水)の実質4日間
- (なお、日程が変更される場合にはみさきテレビなどでお知らせしていきます)

表紙の紹介 ～出前議会in原田～

令和5年5月28日(日)に原田第1・2区自治会の皆さん、美作大学・短期大学、美作高校、岡山大学の学生、議会議員など総勢約100人が集い、まちづくりに



対する活発な意見交換が行われました。



聞くのも勉強



モニターも上手に活用



本格的な議会にドキドキ



堂々と議長を務めました



クラスメイトも見守りました



町長とも対等です



町長・教育長と記念撮影



終わってほっと一息



インタビューでまた緊張

編集 後記

今年の梅雨は、日本各地で発生した観測史上最大の豪雨により、多くの災害が発生しました。

そして、梅雨が明ける前から災害級の熱波など気候変動による災害が心配されます。

美咲町議会では、非常事態であっても優先的に実施すべき業務を的確に行えるよう議会業務継続計画(議会BCP)を策定しています。

総務産業常任委員会では、去る6月8日にオンラインで委員会を開催し、非常事態での手順の確認と訓練を行いました。

議会では、非常事態に即応した行動と対応を目指してまいります。

今後、皆さまのご意見をお聞かせください。(左居記)

議会広報特別委員会

- 委員長 三船 博之
- 副委員長 松田 英二

- 中西 伶王
- 矢吹 一郎
- 板垣 正寿
- 左居 喜次